

「聴いて・考えて・つなげる」通信



今年度は通信を書く担当が変わるので、内容も少し変わるとは思いますが、昨年度の良いところはそのままに、もう少し幅広くいろんなことを語っていただけるとは思います。独り言のような内容も出てくるかもしれませんが、「そりゃちがうぞ。」と思われることもあるかもしれませんが、「あたたかな聞き方、やさしい話し方」をモットーに、いろんなご意見をいただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の学校目標は

憲法、教育基本法を尊重し、人間尊重の精神に徹しつつ生涯を通して自らの成長を図り、社会の変化、文化の発展に主体的に対応できる、心身ともに健康でたくましい心豊かな人間の育成

子どもが輝き、活力ある学校づくりの推進

チーム十五中で「自ら考え、行動し、未来を切り開くことができる子」を育成する

です。

そして、授業では年度当初の研修でが分かりやすく説明して下さったとおり、

「あたたかな聞き方、やさしい話し方」

ということを大切に子どもたちが自分で考えて学ぶ力をつけることに取り組んでいます。授業を通して先生方が、それぞれの個性を大切に生徒との関係を作っていくのだと思います。

実はほかの先生方はどんなふうに授業開きをされてるのかな？と思って先日、美術のの授業を何となく見に行くと、ちょうど、謎の手作りの刀を取り出して、自己紹介をされていました。そのあと質問を受け付けておられたのですが、「もっとほかの作品も見せてください」という真面目なものから、「いくつですか？」というしつこい質問を何個か受けて、最後は「プロポーズの言葉は？」という質問に、「お前が好きだー」と力いっぱい答えておられました。つかみはばっちり、大阪でいうところのノリツッコミの英才教育をされていました。

こんな風にいろんな先生の授業を見学させていただく機会を持ったりしながら、情報を発信していきたいと思いますので、記事になりそうなことがあったら、教えてください。

各学年の学年集会を見学して

1年生

分かりやすい話し方を心がけて、先生方の自己紹介をされていました。の自己紹介で、ご自身が英語を通して自信を持って話ができるようになった。とおっしゃっていたのが印象的です。全体の事として、はたくさんの出会いを大切に、一人一人のおもいやり、他の人が考えていることはわからなくて当たり前、伝わらなくてあたりまえ、やさしい気持ちでお互いを知るために思いやりの気持ちを自分から相手に伝えて「大丈夫？」の精神で支え合ってください。頑張っている人を認め合ってください。という思いを述べ、が小学校との違いや、宿題、授業の受け方を説明されました。一年生はまだ何もわからないのでしっかりと学校生活について説明されていてこれからの中学生生活を生徒たちがイメージすることができたと思います。

2年生

がスローガンや今現時点で二年生ができていることをしっかりと認め、これから後輩もできるので後輩も合わせて頑張れる学年になろう。未来に向けて頑張ろう。と雰囲気を作り、のキャリアパスポートのお話では大切なことがたくさん含まれていました。それに続いて、校外学習の取り組みについてがお話しではかっこいい先輩になろうと語られ、校外学習に行く意味、なぜみんなで行くのか、なぜこの時期に行くのか、という質問を投げかけ、クラスでのスローガンづくりに向けての布石を打っておられました。は学年のスローガンを大切に、スーパープレイではなく、当たり前を当たり前。後輩はそういうところを見ているんだというお話をされていました。どの先生も一貫して同じことをおっしゃっていて、いろんな言い方で説明されている印象です。とてもよく構成されている学年集会だなと感じました。学年方針案を見ると三年後の子どもたちの姿をイメージしながら今の生徒の実態を踏まえ、何をすべきかを共有されているのだろうなと感じました。

3年生

何を言っても三年生、生徒たちの聞く姿勢はさすがに最上級生と感心しました。先生方の和気あいあいとした雰囲気が子どもたちにも伝わって、明るく爽やかな学年集会は41期生ならではのと思いました。その中で、が進路を見通した一年間の流れの説明では①自分を見つめる→自分の道を見つける。②学力をつける。③41期生として学年を作る。④進路の正しい情報をとる。進路選択とは、生き方を選択するという。毎日の生活は次につながっていくのです。という説明を生徒たちは真剣に聞いていました。のお話しされた、自分と向き合い進路を決める。いやな部分と向き合う。その場の雰囲気はみんなが作り出すということ、三年生なので、何をしなくてはいけないのかを自分たちで考える。いろんな行事とどう向き合えばよいか。十五中を引っ張るのは君たちなのだ頭に入れて頑張ってください。と生徒の気持ちを引き締めておられました。